

公表_令和6年度_放デイ ゆうゆう

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスゆうゆう		
○保護者評価実施期間	令和6年2月15日		～ 令和6年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年2月15日		～ 令和6年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運営母体が社会福祉法人である。	職員の欠員が出た場合でも、応援職員を依頼し、通常通りの開所を行うことができる。	今後も継続した運営を行っていきたい。
2	様々な経験や資格をもった職員がいる。	法人理念や事業所目標を基盤としながら、それぞれの経験や有資格者がより良い支援を行うことができるよう体制を整えている。	今後も継続して運営を行っていきたい。
3	正規職員が多いため、支援内容を充実させることができる。	外部や内部の研修を受ける機会を多く持ち、支援内容の充実に取り組んでいる。	今後も研修受講や実際に支援を行いながら、経験を積み研鑽していきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	民家を整備して運営を行っているため、スペースに限りがある。	スペースを有効活用できていない所がある。	パーティションや、個室などを有効活用していきたい。死角もあるが、一人の空間が落ち着く方もいるため、一長一短である。
2	地域交流を増やしていきたい。	地域の清掃活動や、法人としてのイベントなどは催しているが、もう少し増やしていきたい。	事業所としてのイベントの計画等を立てていきたい。
3			

公表_令和6年度_放デイ ゆうゆう

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス ゆうゆう
------	---------------

公表日

令和7年 3月 31日

利用児童数

23人

回収数

17人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	0	2		個室を活用したり、活動の場を区切るなど工夫をしていきたいと思っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	2		必置職員に加え、2名の加配を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2	0	3		折り畳み式のスロープ板や段差解消器を使用してバリアフリー化に努めています。 絵カードや写真入りのカードで構造化も行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	16	0	0	1		毎日清掃を行っています。また、1か月に1回は環境整備を行い、清潔を保てるように努めています。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16	1	0	0		今後も研修などの機会を設け、職員のスキルアップに努め、改善していきたいと思っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1		HPでも公表しています。適宜改善していきたいと思っています。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	0	0	1		ガイドラインに準じて取り組んでいます。 ご要望やご意見があれば、適宜改善していきたいと思っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1		定期的にケース会議を行い、情報共有・共通理解のもと支援を行うよう努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	0	0	1		職員全員で会議を行い、季節に応じたものを取り入れるなど工夫をしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	2	7		法人行事のゆうほまつりや、竹活ラボなどの機会があります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16	0	0	1		年に2回以上、個別面談を行い、支援内容の説明を行っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	1	1		保護者勉強会にて、家族へ向けたペアレントトレーニングを行いました。

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達について共通理解ができていると思いますか。	16	0	0	1	年に2回以上、個別面談を行っています。また送迎時にもお伝えしています。電話連絡させてもらうこともあります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1	気持ちに寄り添えるよう努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	2	1	3	保護者会を年に2回開催しました。そのうち1回はきょうだい児も一緒に参加でき、交流の機会を設けました。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2	0	1	要望・苦情などの相談窓口が、各事業所や法人内に複数あります。重要事項説明書に記載し、契約時に説明を行っています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	1	0	0	固定電話以外にスマートフォンもあり、営業時間中はいつでも連絡を受けることができる体制をとっています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	2	0	0	定期的に通信やinstagram、HPで公開しています。アンケートは紙媒体で配布しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	0	0	2	肖像権使用に係る承諾書を用いる等、留意しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	0	0	2	業務規程で各マニュアルが整備されており、訓練も年に2回以上行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	0	0	3	上記と同じで、業務継続計画(BCP)を策定し、訓練も年に2回以上行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1	安全計画を元に、支援を行っています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1	事故対応業務実施要項に基づき、対応しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	2	0	0	安心感を持って通所できるよう、日々の生活の中で信頼関係を築くことができるよう努めていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	2	0	0	楽しく参加できる活動を取り入れていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	2	0	0	満足してもらえるよう努めてまいります。

公表_令和6年度_放デイ ゆうゆう

事業所における自己評価結果

事業所名	児童デイサービス ゆうゆう				公表日	令和7年 3月 31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	スペースが足りないと感じる時があるが、パーティションなどを用いて区切る等し、工夫している。	個室の活用を行ってきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	必置職員に加え、2名の加配をしている。	グループ分けをするなど、安全に活動できるように工夫してきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	内玄関の段差には折り畳み式のスロープ板を用いて対応している。絵カードや写真入りのカードで構造化を行っている。	今後も特性に応じ、対応を行ってきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日清掃を行っている。また、1か月に1回は環境整備を行い、清潔を保てるように努めている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	パーティションで区切ることで、個別で過ごせるよう配慮している。相談室も使用することができる。	さらに、個室の活用を行ってきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	ケース会議等で情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	アンケート結果をもとに業務改善を実施している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	年に1回は業務改善に関する会議を行い、取り組んでいる。	適宜、改善してきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	行っていない。	今後検討してきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	法人研修、事業所内研修、外部研修など、様々な研修の機会があり、参加している。	今後も受講できるよう努めたい。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	支援プログラムを作成し、法人HPで公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	定期的にあセスメントを行い、計画作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	定期的なケース会議等を行い、情報共有・共通理解に努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	定期的なケース会議等を行い、情報共有・共通理解に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	就学児サポート調査、福祉ソフトリタリコなどを使用している。	今後もアセスメントの変更等、順次行ってきたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	ガイドラインに準じている。	

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	職員全員で会議を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	定期的に見直しを行っている。季節に応じた活動を計画している。	今後も運動会や、アート作品展への出店、発表会等も続けていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個別支援計画と専門的支援計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝礼で引継ぎを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	引き継ぎノートなどを用い、翌日の支援開始前までには情報共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	リタリコというソフトを使用し、記録を取っている。支援の検証は課題ができたときにその都度行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に1回はモニタリングを行い、見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	8	0	自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供については日々の支援の中で組み合わせて行っている。地域交流の機会の提供については、クリーン活動（ゴミ拾い）やゆうほまつり（法入行事）などを行っている。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	活動を自分で選ぶことができるように選択肢を設ける、おでかけの場所を子どもたちに選出してもらうなどの工夫をしている。	子どもたちにアンケートを取る等も検討していきたい。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	その会議の内容に即して適任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	児童が通う教育機関などの関係各所と情報共有会議などを行っている。	今後も積極的に連携していきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	基本的には保護者の方にお知らせしてもらっているが、適宜、各関係機関と連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	必要に応じて情報共有会議等を開催し、情報共有と相互理解に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	移行支援会議などを行い、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		今後、検討していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	法入行事のゆうほまつりや、竹活ラボという地域交流イベントを開催し、交流したことがある。	今後、交流の機会を増やしていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	6		今後、検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	年に2回は面談を行っている。その他、送迎で顔を合わせた際にお話をさせてもらっている。いつもと違う様子が見られた際には電話連絡をさせてもらい、共通理解に努めている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	保護者勉強会にて、家族へ向けたペアレントトレーニングを実施した。		

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	年に2回の面談時や変更があったときなどに、その都度説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	個別面談を2回以上は実施している。	個別面談以外にも機会を検討していきたい。 気軽に相談できる環境も整えていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	支援計画に関する個別面談を年に2回以上は行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	適宜行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者会は年に2回以上行っている。 保護者会の際に、きょうだいにも来てもらい、交流する機会を設けた。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	要望・苦情などの相談窓口を設置し、対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	事業所通信やinstagram等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	十分に留意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	電話連絡の他、LINEを用い、スムーズな意思の疎通に努めている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	3	法人行事でゆうほまつりという催しを開催し、地域に開かれた事業運営を行っている。	今後、検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	業務規程でマニュアルが整備されており、訓練も年に2回以上実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画を策定している。上記と同じで、訓練も年に2回以上実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	アセスメントシート、食物アレルギー調査などを行い、確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全計画を元に、計画に沿った訓練等を行っている。また、随時必要な研修や訓練も取り入れている。	今後も継続していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2	安全計画を元に、計画に沿った訓練等を行い、その報告を行っている。	個別面談時などに、詳細の説明を取り入れていきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	毎月ヒヤリハットを記録し、再発防止に向け取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置している。 法人研修で取り組んでいる。毎月セルフチェックリストを職員1人1人行い、虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束適正化委員会を設置している。 支援計画にも記載し、身体拘束を行った場合は記録し、保護者への報告を行っている。	